

2025年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:日本語)

(国際学研究科 国際文化学専攻)

2025年2月22日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の文章をよく読んで後の各問に答えて下さい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(町田健の文章による)

問 1 問題文の中で、一箇所、助詞の使い方が間違っている箇所がある。その一文を正しく直して、記述して下さい。

問 2 下線部 A 「言語学の研究者に共通の理解は必要です」とありますが、その理由はなぜですか。

問 3 空欄 B にはどんな語が入りますか。次の中から最も適当なものを選んで、○を付けて下さい。

- ① ぜったいに ② かならずや ③ たぶん ④ おそらく ⑤ おおかた
⑥ ほとんど ⑦ どうしても ⑧ めまぐるしく ⑨ つぶさに ⑩ めったに

問 4 下線部 C の「こう考えるとすると、言語は意味を伝達する手段だと定義することができそうです。ただここでもう一つ言語にとって重要な性質があって、それは「音」を使うということです。」という二文を連結させて、一文にまとめて下さい。

問 5 下線部 D「仕組み」はなんとよみますか。ひらがなで答えて下さい。

問 6 言語の一番基本的な部分の定義を何に求めていますか。

問 7 語順など一定の決まりに基づいた規則的な要素を何といいますか。

問 8 作者の論に沿いながら、あなたの母語と日本語とを対照的に比較し、日本語を運用する際に苦労する点についてまとめて下さい。

得点